

「松浦佑次名誉教授 生誕 100 年を祝う集い」 報告

報告 河野 晃 (1981年卒 松浦研)



2018年11月11日(日曜日)16時30分から19時まで、63号館ロームスクエアにて松浦佑次名誉教授生誕100年を祝う集いが開催されました。

松浦先生のご令嬢小林啓子様と、浅川基男名誉教授を主賓に迎え、松浦研究室の1951~1981年卒業生34名が集まりました。

眞下進先輩と加藤泰明先輩(1965年卒)が、松浦先生が永眠されて20年以上経つ今日まで奥様や啓子様を温かく見守ってくださいました。

自己紹介、上田光先輩(1951年卒)の言葉、丸田毅先輩(1956年卒)の音頭により乾杯、和やかに懇親会が進み盛り上がった頃浅川基男名誉教授が話されました。

大隈重信公が理工を創設したときの苦勞と熱意、重信公に温かい手を差し延べる篤志家がいたこと、浅川教授自身が学生の頃の松浦先生とのふれあい、社会人生活を経て教授となられて後に材料加工コースが消滅し復活への努力が実って今に至り、早稲田大学理工機械科に塑性加工は今後も続きますとのお話に感動しました。

翠川隆也先輩(1960年卒)に閉会の言葉をいただき、眞下進幹事の挨拶、「都の西北」を3番まで斉唱し、集合写真を撮り解散しました。(文責 河野 晃(1981年卒))



浅川基男名誉教授のお話
(鉄道模型の趣味は松浦先生と一緒に、国鉄入社希望も住友金属へ就職)



集合写真(松浦先生の遺影は松浦啓子様、奥様の遺影は眞下由美子様が持つ)

【お詫び】この度、早稲田大学機友会ニューズレター50号の編集に関して、手違いがあり「松浦佑次名誉教授 生誕100年を祝う集い報告」が、早期に原稿をいただいていたにもかかわらず、本編に入らなかったことを深くお詫び申し上げます。松浦佑次名誉教授生誕100年については、機友会としても先人を偲ぶ有意義な機会であると認識しており、関係の皆様お気持ちに少しでも応えるために、50号特別版として発行させていただきます。今後今回のことを教訓として役立てていきたいと思っております。今後とも機友会へのご支援を切にお願い申し上げます。(編集責任者 石 太郎)